

講演

手話通訳あり

第140回老年学・老年医学公開講座

医療と介護の今を支える 最先端テクノロジー

1



「転倒予防に ロボットテクノロジーを活かす」

東京都健康長寿医療センター研究所
福祉と生活ケア研究チーム研究副部長

大淵 修一

13:30~14:00

転倒は社会的課題です。しかし転倒を科学することはとても難しいのです。それは、転倒を安全に繰り返し発生させる事が難しいからなのです。ロボットテクノロジーを使って明らかにした転倒予防の秘訣を参加者だけにお教えします。

2



「血管手術に年齢制限はあるのか？ ハイブリッド手術室が外科手術を変える」

東京都健康長寿医療センター
血管外科部長

中澤 達

14:00~14:30

90歳でも大動脈瘤の手術は受けられるのでしょうか？答えは“イエス”です。

血管外科は医療器具・技術の革新により、負担の少ない血管内治療が可能となりました。従来は適応外とされていた高齢患者への手術適応が拡大しています。ハイブリッド手術もさらに増加するでしょう。

3



「自立した生活を支える 工学と医学の協働」

東京理科大学
工学部第一部機械工学科教授

小林 宏

15:00~15:30

生きていく上で最も精神的に苦痛なことの一つは、寝たきりになること、自立できなくなること、ととらえ、その苦痛から解放できるように、生きている限り自立した生活を実現する装置の開発を行っているので紹介します。

質疑応答 司会 石崎 達郎 福祉と生活ケア研究チーム 研究部長

15:45~16:15

会場 北とぴあ さくらホール (所在地: 東京都北区王子1-11-1)

平成27年 11月2日 月

午後1時15分~午後4時30分

地方独立行政法人

主催 東京都健康長寿医療センター

共催 北区
東京都老人クラブ連合会

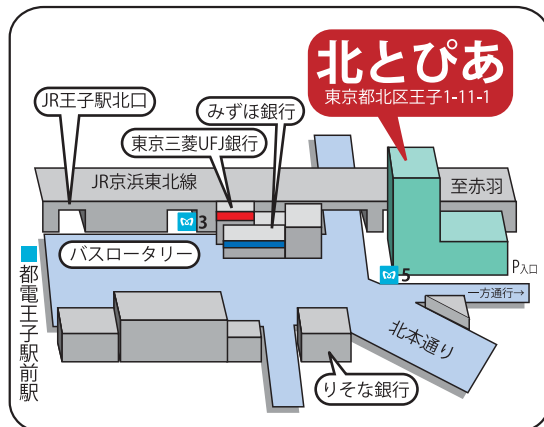
地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
広報普及係

03-3964-3241 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmghig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。

申込不要
入場無料
当日先着
1,300名



JR京浜東北線
東京メトロ南北線
都電荒川線

王子駅
王子駅前駅

北口徒歩2分
5番出口直結
徒歩5分



各都府県庁舎等に設置されています

医療と介護の今を支える 最先端テクノロジー

日ごとの生活の中で多くの方は、“こんなことができればいいなあ”、“工夫したらもっとラクにできるのになあ”と、不便を解消するために工夫を凝らしたことがあるのではないのでしょうか。医療や介護の専門職も、日々の忙しい業務の中で、どうすればより安全に、そしてより確実に、医療・介護を提供できるのかを模索し続けています。そのようなニーズが工学分野の優れたモノづくり技術と結びつくことで、現場の不便を解消し、便利に変えるための新しい医療技術が開発されています。このような取り組みは「医工連携」と呼ばれ、研究機関と企業との間で多くの取り組みがなされています。そしてそれは、医療や介護分野で多くの成果を生み、私たちはその恩恵を受けられるようになっています。

今回の老年学・老年医学公開講座では、最先端テクノロジーによって実現される「高齢者にやさしい医療・介護」について、日本を代表する専門家が、皆さんにわかりやすく解説します。

東京都健康長寿医療センター研究所
福祉と生活ケア研究チーム 研究部長

石崎 達郎



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-3241 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>